

ポラスタウン開発

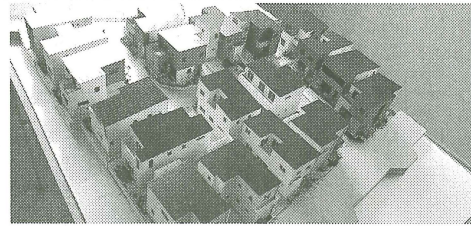


天井埋込スピーカー搭載

ポラスグループのポラスタウン開発（さいたま市南区、中内晃次郎社長）は、営業担当者の要望をくみ取り埼玉県春日部市の戸建分譲住宅地「マテリースせんげん台」（全19棟）の全棟にブルトゥース対応の天井埋め込み型スピーカーを導入。スマートフォンの操作によってリビングの天井から音楽などが「降り注ぐ」ようにした。同規模の分譲戸建てでの導入は初めて。

育児世代の一次取得層向けの同物件は「いやし」をテーマに、「ナチュラル」と「ルーミー」の2タイプを用意。ナチュラルは、珪藻土の塗り壁や、構造梁を現しにした2.9m

せんげん台の19棟



高の天井、無垢フローリングなどを採用、自然素材にこだわった。ルーミーは洗い場が広めの1.25坪の浴室と充実した収納を両立するなど、ゆとりを追求。6月のモデルハウスオープンを前に2カ月で4棟が売れ、現在、7棟が成約済み。

東武スカイツリーラインせんげん台駅から徒歩13分に各区画100～110㎡を開発、92～100㎡の3LDK～4LDKを2980万～4380万円で販売している。